

令和8年度 横浜市泉区社会福祉協議会 事業方針

前年度（令和7年度）は第5期「泉わくわくプラン（泉区地域福祉保健計画）」の区計画および地区別計画が策定され、今後5年間を見据えた新たな目標と取組の検討を進めました。策定の過程において、これまで地域活動を支えてこられた担い手の高齢化や人材不足が従前にも増して顕著になっています。一方で、単身世帯の増加による社会的孤立などの課題が広く認識される中で、身近な地域で困りごとに気づき、見守り・支え合うことの重要性はますます高まっています。

こうした状況を踏まえ、泉区社協は区計画および地区別計画が着実に推進されるように、地域支援チームの一員として地域づくりに取り組んでまいります。

また、泉区制40周年の記念事業に参画し、地域の絆を深める取組を推進します。

【基本理念】 互いに支え助け合う！誰もが安心して暮らせるまち泉

【重点取組】

1 「第5期泉区地域福祉保健計画（泉わくわくプラン）」の推進

第5期計画（8年度～12年度）の初年度として、推進の柱として掲げた「健やかに過ごせるまち」「必要な支援が届くまち」「人と人、活動と活動がつながるまち」の実現に向けた取組を実施します。また、地区別計画の推進を支援します。

〈取組内容〉

- ・地区別計画への関心を高める“推進イベント”の開催
- ・「福祉の泉助成金」の見直しにより、「泉わくわくプラン」に沿った地域活動を支援
- ・「泉わくわく応援隊（小学4年生から中学生対象）」の地域活動への参加促進
- ・地区社協の活動費の確保、広報啓発活動の支援 など

2 多様な主体によるネットワークづくり

区社協会員施設・団体や地元企業とのネットワークを活かし、地域貢献事業「泉サポートプロジェクト（通称：サポプロ）」の事務局として取組を支援します。

また、区内の社会福祉施設・福祉サービス事業所と地域活動団体が災害時等に助け合えるよう、エリア（圏域）ごとの関係構築を支援します。

〈取組内容〉

- ・「サポプロ」ホームページやSNS、区内のイベントなどを活用し、取組を紹介
- ・地域ケアプラザエリア（圏域）ごとのネットワーク構築を支援 など

3 法人の基盤強化

区民から信頼され、関係機関と協働して地域課題の解決に取り組むためには、適正かつ安定した事業運営が不可欠です。会員の拡充や寄付金の使途の見える化、事務の効率化を一層進めていきます。

〈取組内容〉

- ・区社協ホームページのリニューアル
- ・“遺贈”など新たな寄付の形の提案、正会費・法人賛助会費の集金事務の見直し
- ・大規模災害時を想定した業務継続計画（BCP）の改訂 など

令和8年度 横浜市泉区社会福祉協議会 事業計画

この事業計画は、前述の事業方針と重点取組に基づき、泉区社協の主な4つの活動「1. 地域づくりの支援」「2. 活動（団体）の支援」「3. 広報・啓発の取組」「4. 一人ひとりの困り事への取組」に沿って掲載しています。また、各事業の予算額（主な財源）令和8年度予算額〔令和7年度予算額〕を表示しています。

取組にあたっては、本会の強みである会員組織としてのネットワークを活かし、関係団体・機関の連携を促進します。

1. 地域づくりの支援

（1）地区社協活動の支援

（市社協補助金・正会費・賛助会費・共同募金）5,271千円〔6,586千円〕

「身近な地域のつながり・支えあい推進事業※」を進めながら、「地域支援方針」や「地区社協のてびき」に基づき、地区社協の目的である「一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくり」を推進できるよう支援します。引き続き、地区社協が交流や居場所づくりを継続的に進められるよう、活動の資金となる賛助会費の確保や地区社協助成金の拡充、担い手拡充の工夫についての検討など、支援に取り組めます。

また、地区担当職員を置き、地区社協の運営や事業の実施等をサポートするとともに、「第5期泉わくわくプラン」地区別計画に連動する取組を支援します。

【取組事項】

- ① 地区社協分科会の定例開催（年4回）
市域・区内の情報提供や情報共有、課題検討等を行います。
- ② 区域の地区社協研修会の開催、地区の研修開催支援
- ③ 地域アセスメント、地区診断、地区社協状況書の作成
- ④ 「泉わくわくプラン」地区別計画に連動する取組の推進
- ⑤ 地区社協や賛助会費への理解推進
区社協広報紙や賛助会費チラシ等を活用し、地区社協の活動紹介を行います。
- ⑥ 地区社協の広報活動支援
- ⑦ 地区社協助成金の交付および拡充

※身近な地域のつながり・支えあい推進事業とは、様々な生活課題を抱えている地域住民に寄り添い、地域活動者・福祉保健関係者や多様な主体と連携して、つながりや支えあいづくりを推進するという、横浜市社協が大切にしている考え方です。

（2）民生委員・児童委員との連携

地域における身近な相談役である民生委員・児童委員、主任児童委員とともに、地域の課題解決に向けた取組を進めます。民生委員児童委員分科会の開催や、地区民児協定例会への参加、泉区民児協への助成金交付などにより、地域福祉推進のパートナーとしての連携を深めます。

(3)「泉わくわくプラン（泉区地域福祉保健計画）」の推進

(正会費・賛助会費) 101 千円 [340 千円]

区役所との共同事務局により第5期計画（令和8年度～12年度）を推進するとともに、計画周知のため「第5期泉わくわくプラン スタートアップイベント」を実施します。

また、地区別計画の推進では区役所や地域ケアプラザとの「地域支援チーム」と連携を図りながら進めます。

(4)「泉わくわく応援隊」の推進

子ども達（小学4年生～中学3年生）に地域活動のお手伝いとしての参加を促し、子どもの頃より地域の方々と交流するきっかけを作ります。参加した子ども達の社会性を高めるとともに、子ども達の参加を通じて、保護者世代も含めた地域住民同士の多世代間の交流、防犯・防災などいざという時に支え合えるような地域づくりを目指します。

(5) 生活支援体制整備事業

(市社協受託金) 200 千円 [200 千円]

高齢者の生活支援・介護予防の充実のため、区役所や地域ケアプラザ、地区社協、自治会町内会、ボランティア団体、施設、企業など多様な主体との連携により、担い手の発掘・育成により新たな活動を創出します。また、地域包括ケアシステム構築に向けて「泉区アクションプラン」とも一体的に推進していきます。

【取組事項】

- ① 区役所と協働で区レベル協議体（支えあいの仕組みづくりを進める会議）を開催します。また、各地域ケアプラザの協議体の開催を支援します。
- ② 第2層生活支援コーディネーター連絡会を開催し、研修を取り入れながら各エリアの状況把握を行うとともに、区域の課題について検討します。
- ③ 横浜市が展開している地域活動や地域サービスの検索サイト「ふくしらべ」や「ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ」を通じて、区内の活動情報を発信します。
- ④ 地域に密着したニーズを把握し、必要なインフォーマルサービスの創出と活用を推進します。
- ⑤ 区内で実施が増えている移動販売をサポートする地域活動団体による情報交換会を開催します。

(6)「泉サポートプロジェクト」の推進

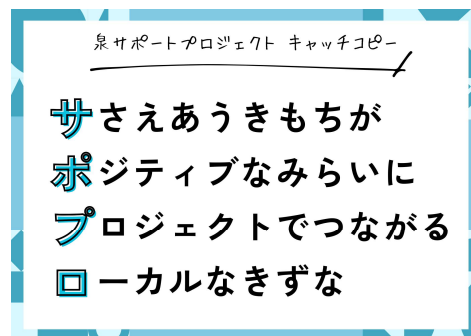
(正会費・賛助会費) 479 千円 [350 千円]

本会正会員・賛助会員である福祉施設や企業、団体が連携し、地域貢献の一環として地域ニーズに対応する取組「泉サポートプロジェクト」の事務局として、区役所や地域ケアプラザとともに取組を推進します。

昨年度新設したホームページや SNS、リーフレット等を通じて区民に向けて情報発信を行うとともに、地域活動における困りごとを発掘し、ICTを活用して、地域活動団体と登録団体とのマッチングを積極的に行います。

【取組事項】

- ① 施設や企業、地域住民に対する広報・啓発
- ② 地域における困りごと等ニーズの発掘
- ③ 地域ニーズに対応するための登録団体の拡充・関係構築
全体会や研修会の開催を通して、登録団体同士の関係構築と互いの実践内容を共有するため情報交換等を行います。
- ④ 地域ケアプラザと連携し、エリア（圏域）ごとの取組支援
- ⑤ 各エリア（圏域）の登録団体有志による検討会の開催



第5期泉わくわくプラン 評価指標*	R 6実績	R 7見込	R 8見込
泉サポートプロジェクトの取組数 (登録施設・企業・団体等の数)	64	70	75

*推進の柱2「必要な支援が届くまち」

重点項目3「一人ひとりに寄り添った支援から地域の課題を考える」

評価指標：地域課題の抽出と課題解決に向けた取組数

（7）福祉施設間のネットワークづくり

本会の会員組織ネットワークを活かし、福祉施設の種別を超えたつながりづくりを推進します。災害時に備え、福祉施設同士が互いに支え合える体制づくりを進められるよう、平時から顔の見える関係の構築に向けた情報提供や啓発に努めます。

【取組事項】

- ① 区域のネットワークづくり
本会専門機関部会や泉サポートプロジェクト等の取組を通じて、福祉施設間の関係構築を支援するとともに、つながりの輪を広げます。
- ② エリア（圏域）ごとのネットワークづくり
地域ケアプラザと連携し、エリアごとのネットワーク構築を支援します。

（8）地域ケアプラザ地域活動交流コーディネーターの支援

（市社協補助金・共同募金）82千円 [82千円]

地域住民の福祉活動を支援する地域活動交流コーディネーターを支援するため、定例の連絡会を開催し、情報交換や研修会、勉強会等を行います。

(9) 子育て・子ども若者支援団体の取組支援

子どもの健やかな育ちの支援として、子育て中の孤立感の解消などを目的に地域における子どもの居場所づくりや子育てを応援します。

【取組事項】

- ① エリア（圏域）ごとの子育てネットワークへの協力
- ② 関係機関との連携による子ども・若者支援

泉区児童支援専任教諭・生徒指導専任教諭協議会、子ども支援団体等と連携し、課題の共有や解決に向けた取組の推進および個々の課題をもつ子ども・若者支援の地域理解の推進を行います。

2. 活動（団体）の支援

(1) 泉ふれあい助成金・福祉の泉助成金

（市社協補助金・共同募金・善意銀行等）12,170千円 [13,067千円]

身近な地域の支えあい活動や障がい当事者活動、住民主体の活動を推進するため「泉ふれあい助成金」および「福祉の泉助成金」を通じた活動支援を行います。今年度は「福祉の泉助成金」の見直しを行い、物価高騰の影響を受けている食事サービス事業への助成を増額するとともに、「第5期泉わくわくプラン」に沿った活動を支援します。

	第5期泉わくわくプラン 評価指標*	R6実績	R7見込	R8見込
1	地域で行われる高齢者の健康づくり活動への参加人数（健康増進区分助成団体の参加者数）（人）	4,607	3,981	4,100
2	地域の居場所づくりの実施箇所数（要援護者支援区分集いの場助成団体の実施回数）	1,758	1,722	1,750

* 1 推進の柱1「健やかに過ごせるまち」

重点項目1「健やかに暮らし続けるための取組を進める」

評価指標：健康づくりや介護予防の取組に参加している人数

2 推進の柱3「人と人、活動と活動がつながるまち」

重点項目1「多様性を理解し、つながる機会を作る」

評価指標：交流を目的とした活動の実施箇所数

(2) 泉区福祉保健活動拠点「泉ふれあいホーム」の運営

（区指定管理料・利用料収入等）18,699千円 [18,463千円]

世代や障がいの有無に関わらず、市民の自主的な福祉保健活動に「活動の場」を提供することにより、福祉活動の推進を図ります。また、利用団体相互の交流や情報の提供を行い、単なる活動の場の提供にとどまらない「福祉活動の裾野を広げる」ことを目的とした福祉保健活動拠点の運営に努めます。

今年度は利用団体の利便性の向上を目的に、予約受付方法の見直しを検討します。

[指定管理期間：令和8年4月1日～令和13年3月31日]

【取組事項】

- ① 窓口や電話での相談、利用登録団体懇談会、利用者アンケートの実施などを通じて、利用者のニーズの把握に努め、拠点やボランティアセンターの運営に反映
- ② ホームページによる福祉保健活動拠点の情報提供
- ③ ボランティア講座や研修会を実施し、人材発掘を推進

(3) 善意銀行

区民の皆様からのお預かりした寄付金や物品を区内の施設・ボランティア団体のニーズに基づき配分します。寄付を受けた食料品等については、緊急的に食料支援が必要な方への支援に活用します。

また、ホームページ等を活用し、寄付に関する相談の受付や遺贈について情報発信できるよう整備を進めます。こうした取組を通じて、寄付文化を醸成します。

3. 広報・啓発の取組

(1) 福祉教育の推進

(正会費・賛助会費・市社協補助金) 288 千円 [257 千円]

地区担当職員や地域の関係機関・団体と連携し、様々な対象に向けた福祉教育（啓発）を行い、社会福祉への理解を促進します。また、区内の学校等に向け、チラシを活用し、福祉の授業実施のPRを行い、学びが深まる授業を共に検討していきます。

夏休み期間には、子どもの体験を通じた学びの機会が広がるよう「いずみサマースクール」を実施し、協力施設の拡充やプログラム内容の充実を図ります。

【取組事項】

- ① 学校・企業・地域住民等を対象に、障がい当事者理解等の福祉教育（啓発）を実施します。
- ② 小中高校生対象の福祉体験学習「いずみサマースクール2026」を実施します。
- ③ 学校長会での情報提供、担当教諭への理解促進等、学校と連携して取り組みます。
- ④ 実施にあたっては、地域ケアプラザおよびボランティア・地域活動団体、泉サポートプロジェクト登録施設等との連携を強化します。

	第5期泉わくわくプラン 評価指標*	R 6 実績	R 7 見込	R 8 見込
1	子ども等への福祉教育の実施回数（回）	17	18	20
2	いずみサマースクールの実施に協力した団体数	39	41	43
3	いずみサマースクール応募者数	116	90	90

* 1・2 推進の柱3「人と人、活動と活動がつながるまち」

重点項目1「多様性を理解し、つなげる機会を作る」

評価指標：多様性を理解する機会の回数

交流を目的とした活動の実施箇所数

* 3 推進の柱3「人と人、活動と活動がつながるまち」

重点項目3「担い手を増やす」

評価指標：地域活動の担い手を育成・発掘するための取組への参加人数

(2) 地域情報や活動に関する情報発信

(正会費・賛助会費・共同募金・区指定管理料・市社協受託金・市補助金)
3,110千円 [1,561千円]

広報紙「区社協だより泉」やホームページ、SNSを通して、地域福祉活動の情報発信を行います。

【取組事項】

① 区社協ホームページの全面リニューアルおよびホームページを活用した情報発信

② 「区社協だより泉」の発行(年2回)

地域住民が自分たちの暮らすまちに関心を持つきっかけとなるよう、地区社協やボランティア団体の活動、区社協の事業等の情報を発信します。また、障がい者の社会参加を促進するため、広報紙の配付業務を障がい福祉サービス事業所へ委託します。

③ 「ボランティアセンター通信かわら版」の発行(年2回)

ボランティア講座やボランティア募集の案内、ボランティア団体の活動等を掲載し、区内のボランティア活動の活性化につなげます。

④ 「移動情報センター通信」の発行(年1回)

ガイドボランティア活動の紹介や開催講座の報告を掲載し、移動情報センターにおける取組について広く周知します。

⑤ 泉区民ふれあいまつり(11月3日(火・祝))への参加

区社協関連事業等について、区民への啓発活動を行います。

(3) 第40回泉区福祉の作品展の開催

(共同募金) 300千円 [210千円]

「障害者週間※」の取組の一環として、「泉区福祉の作品展」を「ゆめが丘ソラトス」を会場に開催します。区内の障害福祉事業所・団体、中学校個別支援学級等の活動を紹介する他、高齢者施設や地域ケアプラザによる作品展示も行き、福祉全般への理解促進を図ります。

また、区役所高齢障害支援課・区内障害福祉事業所による「泉ふれあいシールラリー」の取組ともコラボレーションし、障がい児者への理解促進に向けた啓発活動を一体的に推進します。

※障害者週間：障がいのある方の社会参加を進めるため、障害者基本法により毎年12月3日から9日までの期間を「障害者週間」と定め、全国で普及啓発の取組が行われています。

(4) 第40回泉区社会福祉大会の開催

(共同募金) 473 千円 [441 千円]

社会福祉功労者に対する顕彰および「第5期泉わくわくプラン」取組内容の周知をはじめとした区民への福祉啓発事業を実施します。

4. 一人ひとりの困りごとへの取組

(1) ボランティアセンターの運営

(区指定管理料) 904 千円 [904 千円]

ボランティアや地域住民の活動に関する様々な相談に応じ、地域福祉活動を担う人材確保・育成のため、テーマ別・対象別のボランティア講座を実施します。また、活動の継続のために登録ボランティアの状況を把握し、一人ひとりに合わせたフォローアップを行います。

地域ニーズや地域資源の情報については、ボランティアセンター担当職員と地区担当職員が連携・共有し、地域福祉活動を支援します。

【取組事項】

- ① ボランティア講座の開催および情報発信
 - ア ボランティア入門講座および活動の促進を目的とした講座を開催します。
 - イ ボランティア情報の定期的な発信など、ボランティア登録者や新規活動者の獲得に向けたアプローチを行います。
- ② ボランティア相談・コーディネートの実施
 - ア ボランティア相談や登録の受付、活動先の紹介を行います。
 - イ 学生がボランティア活動に参加しやすいよう、学生のニーズとボランティアの実態を鑑み、双方が気持ちよく活動を行うことが出来るよう支援します。
 - ウ 住民同士の助け合い活動を支援します。
 - エ 施設や団体等のボランティア受入れにかかわる方を支援します。
 - オ ボランティア保険の受付業務を行います。
- ③ 「人財バンク」の情報更新(区民活動支援センターとの協働事業)

	第5期泉わくわくプラン 評価指標*	R 6実績	R 7見込	R 8見込
1	各種ボランティア(養成)講座参加人数(人)	75	62	65
2	ボランティアセンターの新規登録人数 (団体構成員数も含む)(人)	82	96	110

* 1 推進の柱3「人と人、活動と活動がつながるまち」

重点項目2「参加する人を増やす」

評価指標：地域活動への参加を促すイベント等への参加人数

2 推進の柱3「人と人、活動と活動がつながるまち」

重点項目3「担い手を増やす」

評価指標：地域活動の担い手を育成・発掘するための取組への参加人数

(2) ボランティア団体の支援

(正会費・賛助会費) 150 千円 [150 千円]

ボランティア団体の活動継続のため、団体間の交流や連携を支援します。また、各種情報提供を行います。

【取組事項】

- ① 「泉区ボランティアネットワーク」の運営・活動支援
 - ア 「泉区ボランティアネットワーク」運営委員会の定例開催支援
 - イ 「泉区ボランティアネットワーク」各部会（一般・高齢・障がい・子育て）の開催を支援し、ボランティア団体同士の交流や研鑽を通じて、区内ボランティア活動者間のつながりを促進します。
 - ウ 「泉区ボランティアフォーラム」の開催支援
 - エ 「泉区ボランティアネットワーク」の活動を支援するための助成金交付
- ② 泉ふれあい助成金・福祉の泉助成金の案内、他の民間助成金等に関する情報提供

(3) 災害ボランティアセンター運営体制の整備

(市社協補助金) 40 千円 [30 千円]

発災時に備えて、平時から互いに支え合える地域づくりに取り組むとともに、泉区役所との協定に基づき、泉区災害ボランティアセンターを設置した際に円滑に運営できるよう訓練を実施します。実施にあたっては、本会の会員組織ネットワークを活かし、区内の施設・団体やボランティアセンター登録者の他、広く区民にも参加を募集し、災害ボランティアセンターの機能について周知啓発を進めます。

【取組事項】

- ① 横浜市社協・18区社協の「災害情報共有システム」を活用した、機能的な災害ボランティアセンターの運営体制を構築します。
- ② 各種災害に対する義援金募集活動の情報発信・相談受付を行います。
- ③ 災害ボランティアセンター設置運営シミュレーション訓練（兼研修会）を開催します。

(4) あんしんセンター（日常生活自立支援事業）

(市社協受託金・利用料収入) 2,845 千円 [1,679 千円]

高齢者や障がい者の財産や権利を守り、安心して日常生活が送れるよう相談・契約によるサービスを行います。契約者に判断能力の低下が生じた場合は、成年後見人に速やかに移行できるよう区役所や地域包括支援センター、基幹相談支援センター等と協力し、泉区成年後見サポートネットや市民後見サポートネット、社会福祉士連絡会の場等を活用して連携を図ります。

また、緊急連絡先やかかりつけ医などの情報を、事前に市に登録することができる

「ヨコハマあんしん登録」事業について、入力作業が自身でできない方の入力支援を専用窓口にて行います。

第5期泉わくわくプラン 評価指標*	R 6実績	R 7見込	R 8見込
泉区社協あんしんセンターへの相談数（件）	41	40	40

*推進の柱1「健やかに過ごせるまち」

重点項目2「自分らしく過ごせる地域づくりを進める」

評価指標：成年後見制度などの制度や仕組みの理解につながった人数

（5）移動情報センター

（市社協受託金・市補助金）11,087千円 [10,421千円]

外出に困難を抱える障がい児者からの相談に応じて、支援制度のご案内や、サービス事業所等の紹介・コーディネートを行います。また、外出を支援する人材の発掘・育成および関係機関との連携、地域住民への事業周知等を行い、障がい児者やその家族が安心して暮らせる地域づくりを進めます。

今年度は主に障がい児の保護者向けに作成したリーフレットを活用し、必要な方へ情報が届くよう、学校や区役所等と連携して取り組みます。

【取組事項】

① 移動に関する相談窓口の運営

移動に関する相談を受け付け、必要に応じて移動支援情報の提供または福祉サービスの紹介、調整等を行います。また、適切な支援が行われるよう区役所や基幹相談支援センター等の相談支援機関につなげるとともに、相談受付対象者へのフォローアップに努めます。

② 横浜市ガイドボランティア事業における事務取扱団体の業務遂行

ガイドボランティア活動のコーディネートを行います。また、ガイドボランティアの発掘・育成および障がい理解を目的にガイドボランティア講座を開催します。

③ 推進会議の開催

区内の障がい児者の移動に関する課題解決を目的に、関係機関とのネットワーク形成や担い手の発掘・育成等の移動支援を推進するための取組について協議、連携を図る場として推進会議を開催します。

第5期泉わくわくプラン 評価指標*	R 6実績	R 7見込	R 8見込
ガイドボランティアの年間活動件数（件）	930	942	950

*推進の柱2「必要な支援が届くまち」

重点項目2「みんなで支援する仕組みを整える」

評価指標：地域・関係機関・行政のネットワーク構築と連携強化に向けた取組回数

(6) 生活福祉資金貸付事業・生活困窮者への食料支援

(県社協受託金) 5,917 千円 [4,375 千円]

生活福祉資金の貸付相談を通じて、生活の困窮に対する総合的な相談に応じ、区役所生活支援課等と連携し支援します。また、新型コロナウイルス感染症等の影響により生活に困窮した世帯への貸付について、償還に向けたフォローアップ支援を行い、借受世帯からの全般的な相談に対し、区役所生活支援課等関係機関や民生委員・児童委員と連携しながら生活再建を支援します。

【取組事項】

① 生活福祉資金貸付事業相談

貸付の種類：総合支援資金、臨時特例つなぎ資金、緊急小口資金、福祉資金（教育支援資金等）、不動産担保型生活資金、その他

② 生活困窮者への食料支援

緊急的に食料支援が必要な世帯に対して、関係機関と連携し、フードバンクかながわ等から提供された食料品・生活用品を活用し、世帯の安定した生活に向けて支援します。

(7) たすけあい福祉資金給付

(共同募金) 100 千円 [120 千円]

火災・風水害等を受けた罹災世帯に見舞金を交付します。

(8) 行旅病人への支援

(共同募金) 20 千円 [20 千円]

行き倒れや行き場のない方への緊急措置として一時金を支給します。

5. 社会福祉協議会 法人運営・団体事務局

(1) 公益性の高い社会福祉法人としての適切な組織運営

- ① 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催
- ② 各種部会、分科会の開催
- ③ 助成金配分審査委員会の開催
- ④ 計画的で透明性の高い業務執行、法律や規程に基づいた適切な事務・経理処理
- ⑤ 正会員および賛助会員の募集と会費の有効活用
- ⑥ BCP（災害時の業務継続計画）の適宜見直し

第5期泉わくわくプラン 評価指標*	R 6 実績	R 7 見込	R 8 見込
各部会・分科会での研修・情報交換会の実施回数（回）	13	10	9

*推進の柱3「人と人、活動と活動がつながるまち」

重点項目3「担い手を増やす」

評価指標：地域主体の活動へ支援をした回数

(2) 各種団体の事務局

各種地域活動団体の事務局として、団体の活動を広報し、理解啓発に努めます。

【各団体の活動内容】

① 神奈川県共同募金会横浜市泉区支会

赤い羽根共同募金・年末たすけあい募金運動を実施し、区内および県内の福祉施設や障がい者団体、ボランティア団体等の活動支援を行います。

② 日本赤十字社神奈川県支部泉区地区委員会

日本赤十字会費募集運動、区内の火災等被災者への見舞金の交付、救急法等講習事業、災害救護に関する活動の推進、災害義援金・救援金の受付等を行います。

③ 泉保護司会

保護司活動に関わる事務手続きや関係機関への調整等のサポート、犯罪予防活動や更生保護活動の推進、各協力組織との連携や社会貢献活動への支援を行います。

④ 泉区更生保護女性会

保護司と協力して「社会を明るくする運動」の推進、赤い羽根共同募金の街頭募金への参加、研修会の開催、子育て支援事業などを行います。

⑤ 泉区更生保護協会

更生保護活動の周知・啓発や「社会を明るくする運動」を推進するための事業を行います。